

キヤノン株式会社
2023年経営方針説明会

プリンティンググループ

2023年3月6日

代表取締役副社長 CTO プリンティンググループ管掌

本間 利夫

Canon

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

プリンティンググループ 重点施策

■ フェーズⅥ基本方針

グループ統合効果を発揮した新成長戦略の推進

■ 重点施策（フェーズⅥ、今年度）

1. 重点化市場の再構築と最適商品の開発
2. ものづくり革新による商品開発力の強化
3. デジタルサービス商品の強化
4. 環境適合型ものづくりの推進

1. 重点化市場の再構築と最適商品の開発

■ 1-1. 市場の再区分化と重点市場の特定

① 市場の定義

2019市場規模

2025市場規模

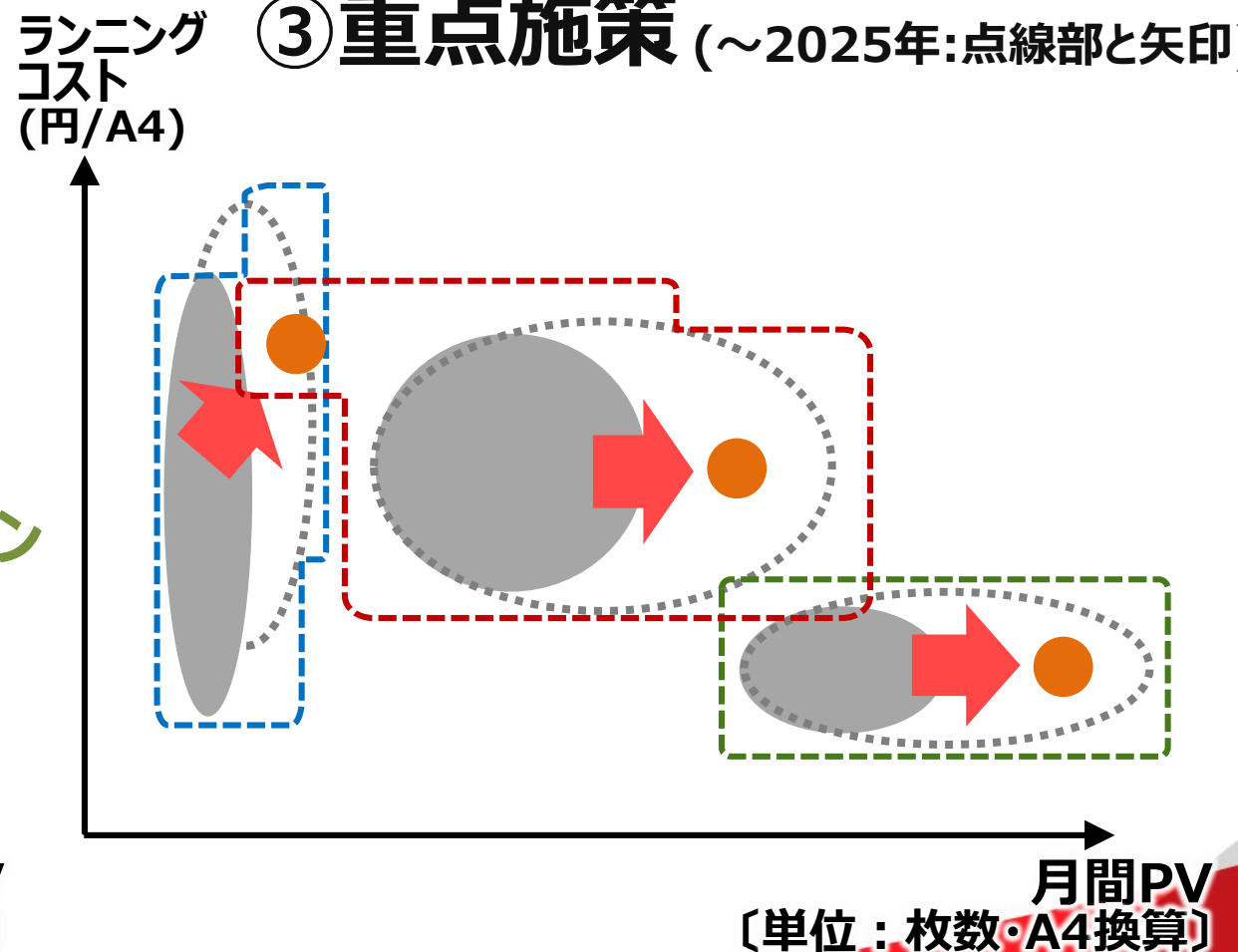
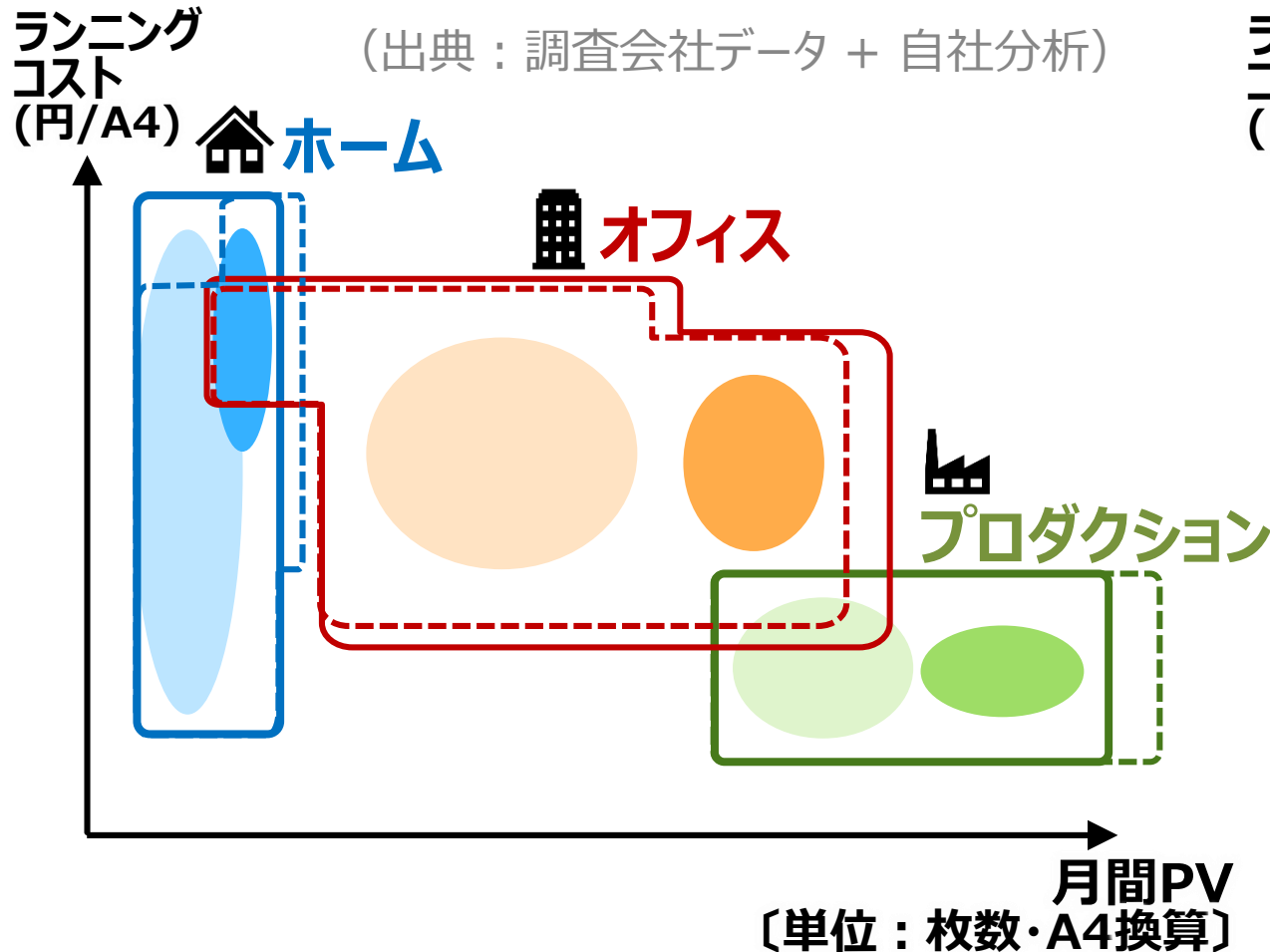
低成長
低収益

高成長
高収益

(出典：調査会社データ + 自社分析)

② キヤノンの従来 (2019年:グレー部)

③ 重点施策 (~2025年:点線部と矢印)



1. 重点化市場の再構築と最適商品の開発

■ 1-2. グループ連携による商品開発力の拡大

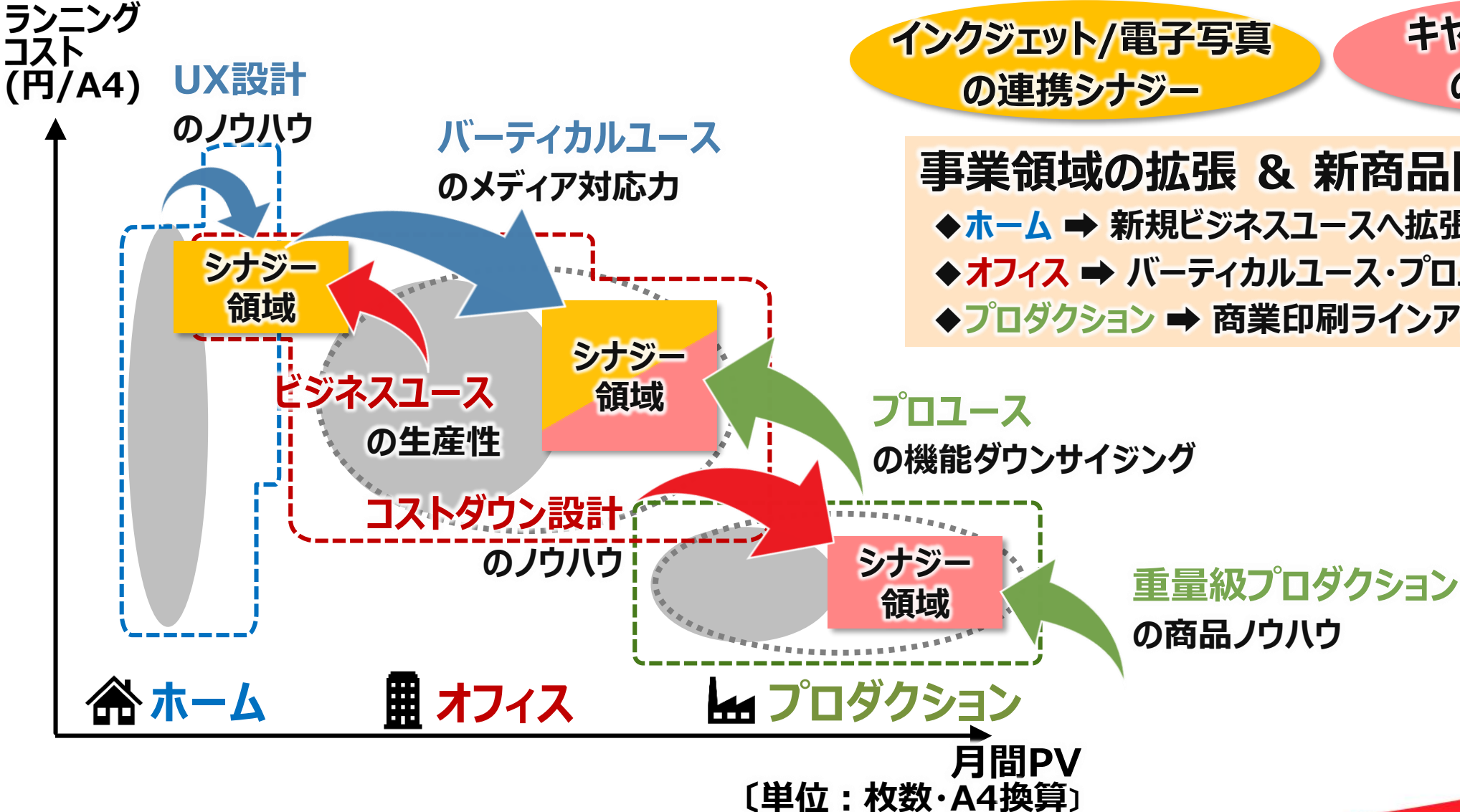
※Canon Production Printing

インクジェット/電子写真
の連携シナジー

キヤノンInc./CPP※
の連携シナジー

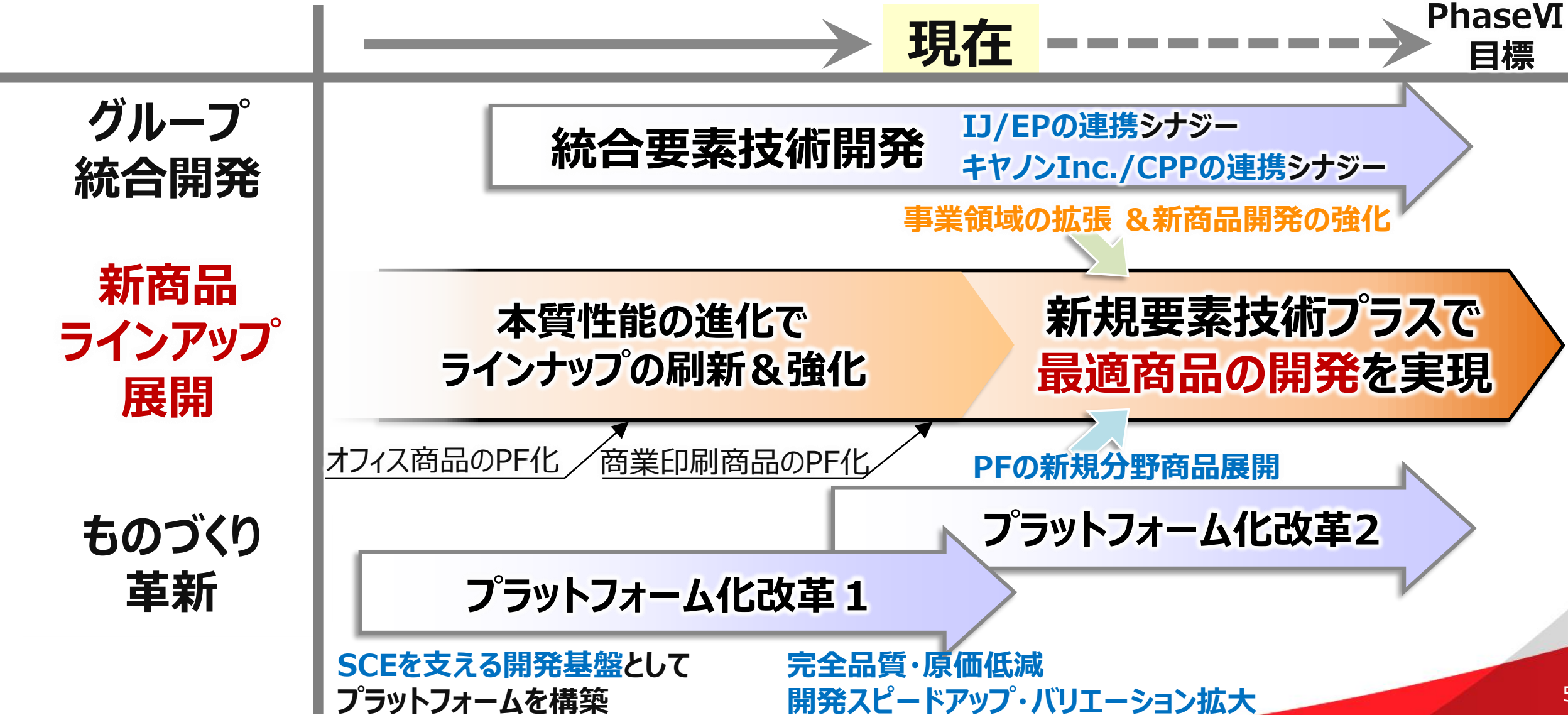
事業領域の拡張 & 新商品開発の強化

- ◆ **ホーム** ⇒ 新規ビジネスユースへ拡張
- ◆ **オフィス** ⇒ バーティカルユース・プロユースへ拡張
- ◆ **プロダクション** ⇒ 商業印刷ラインアップの充実



2. ものづくり革新による商品開発力の強化

■ 2-1. ものづくり革新と商品ラインアップの整備



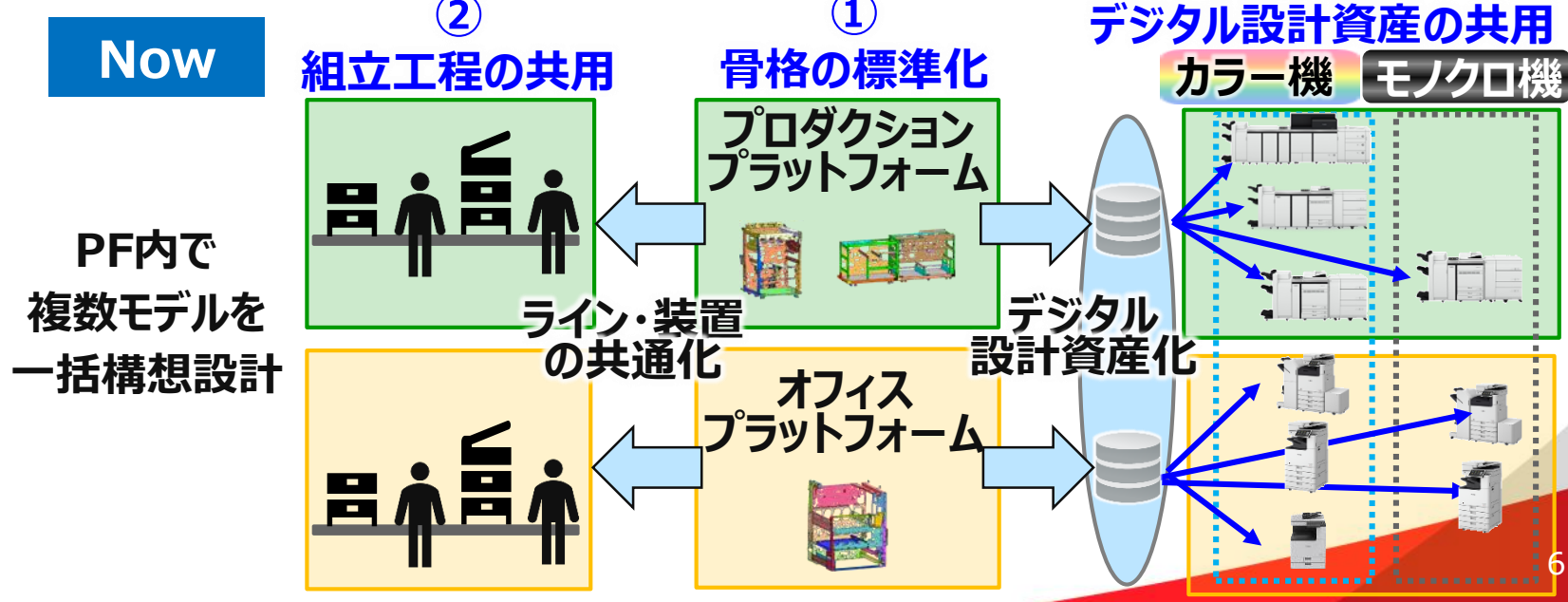
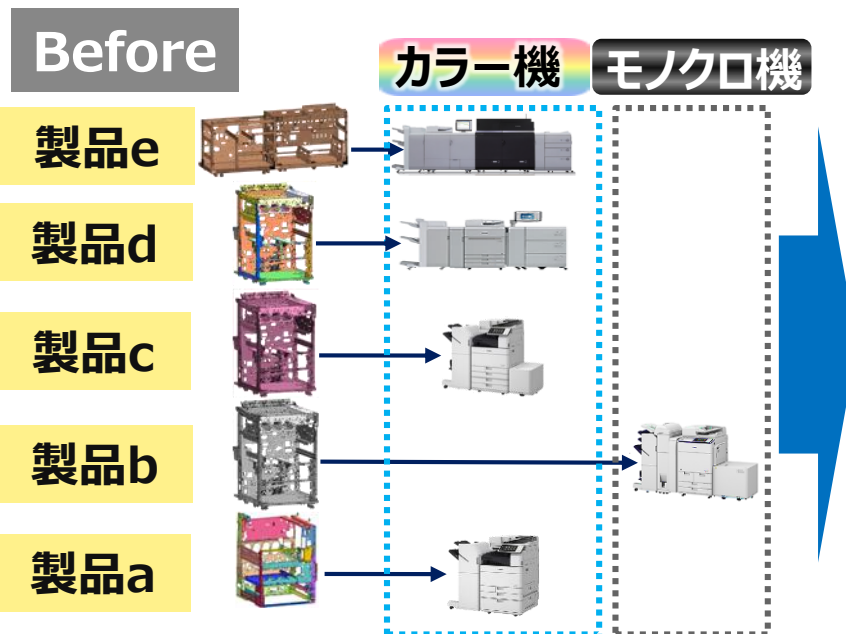
2. ものづくり革新による商品開発力の強化

■ 2-2. プラットフォーム開発の展開

プラットフォームの考え方

商品をクラスに分類し、

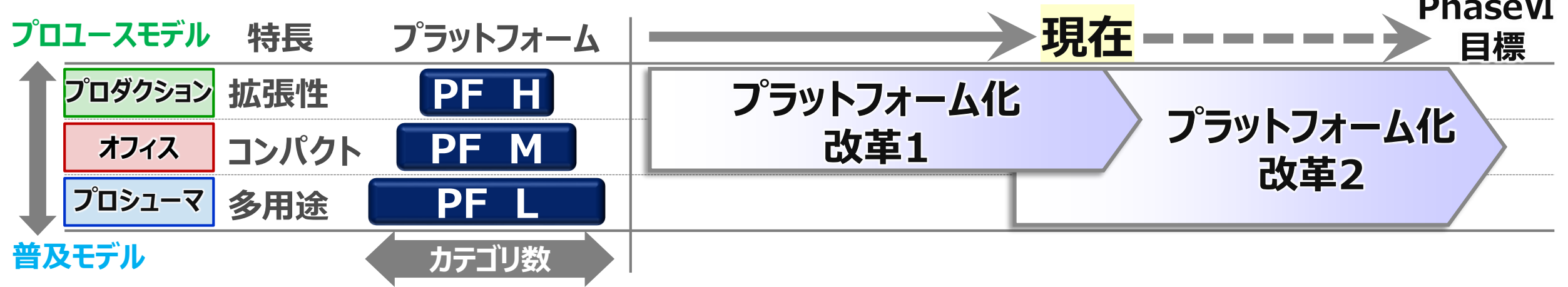
- ①クラスごとに**骨格を標準化**
- ②各プラットフォームで**組立工程を共用**
- ③各プラットフォームで**デジタル設計資産を共用**



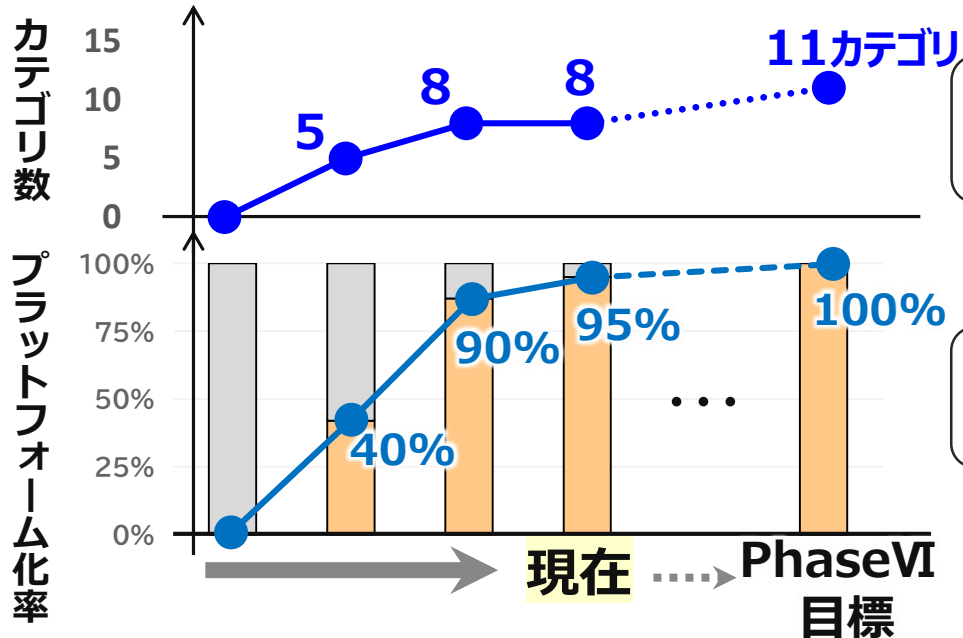
[資料] プラットフォーム化の進捗

[資料] プラットフォーム化の進捗

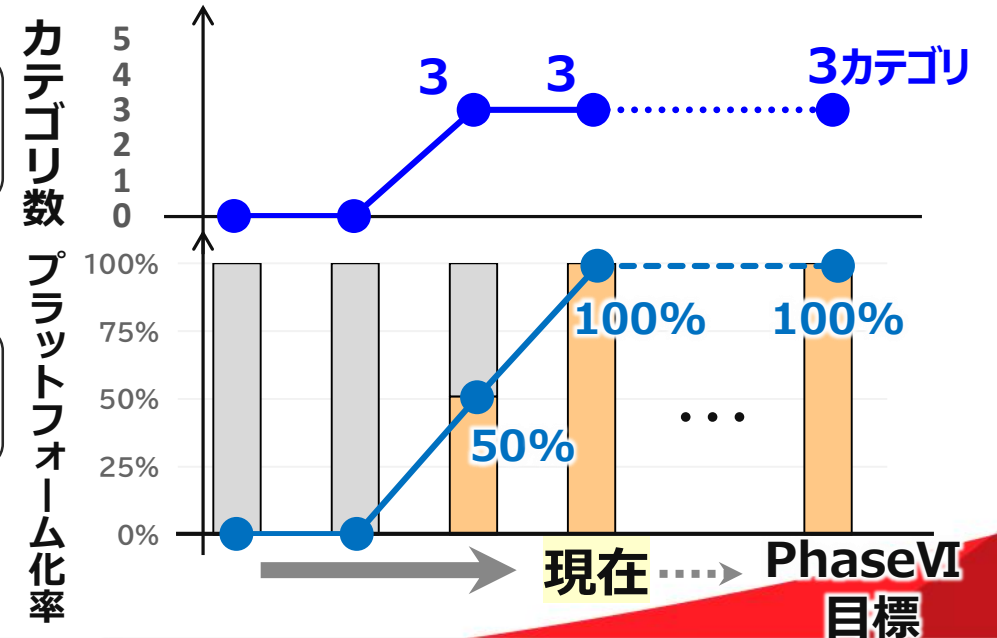
現在、オフィス、プロダクションのPF化およびラインナップ刷新が完了



オフィス製品

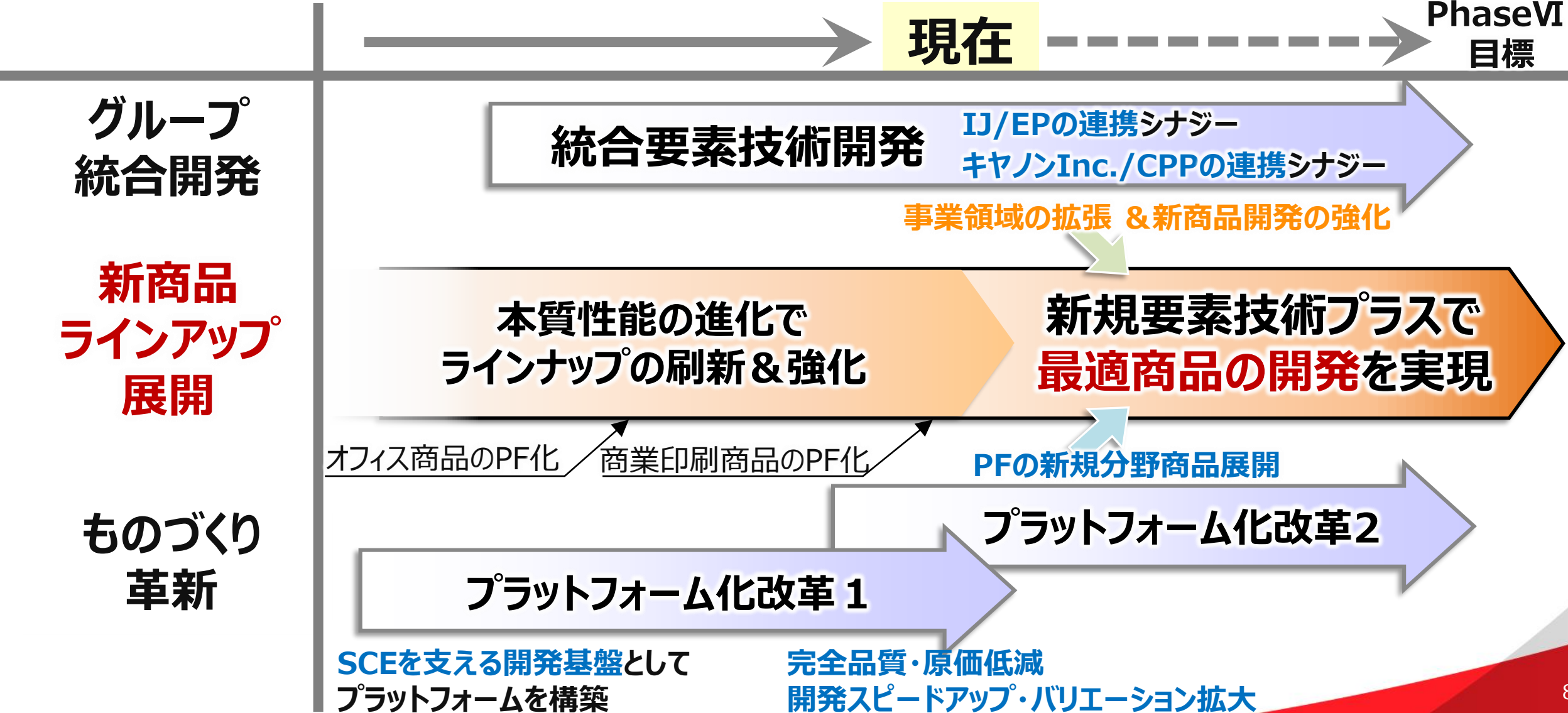


プロダクション製品



2. ものづくり革新による商品開発力の強化

■ 2-1. ものづくり革新と商品ラインアップの整備



[資料] マーケットシェアの目標と進捗

(出典：調査会社データ + 自社推定)

	2019年 (実績)	〔 2020年 グループ化 〕	2022年 (中間実績)	PhaseVI 目標
プロダクション ・商印 B2+B3 IJ ・商印 A3+ ・大判 GA/CAD	2位 25%	開発連携による商品力強化で シェアNo.1を獲得 +11pt	1位 36%	UP
	2位 18%	imagePRESS Vシリーズ の市場投入 +4pt	2位 22%	UP
	2位 30%	商品ラインアップの拡充 (高速CAD/蛍光インク製品など) ±0pt	2位 30%	UP
オフィス ・CL/BW 合計	2位 18%	本質性能強化による 商品力アップ +2pt	1位 20%	UP
プロシューマー ・IJ ホーム・ビジネス	3位 27%	商品系列の再構築と 在宅需要等への対応 ±0pt	3位 27%	UP

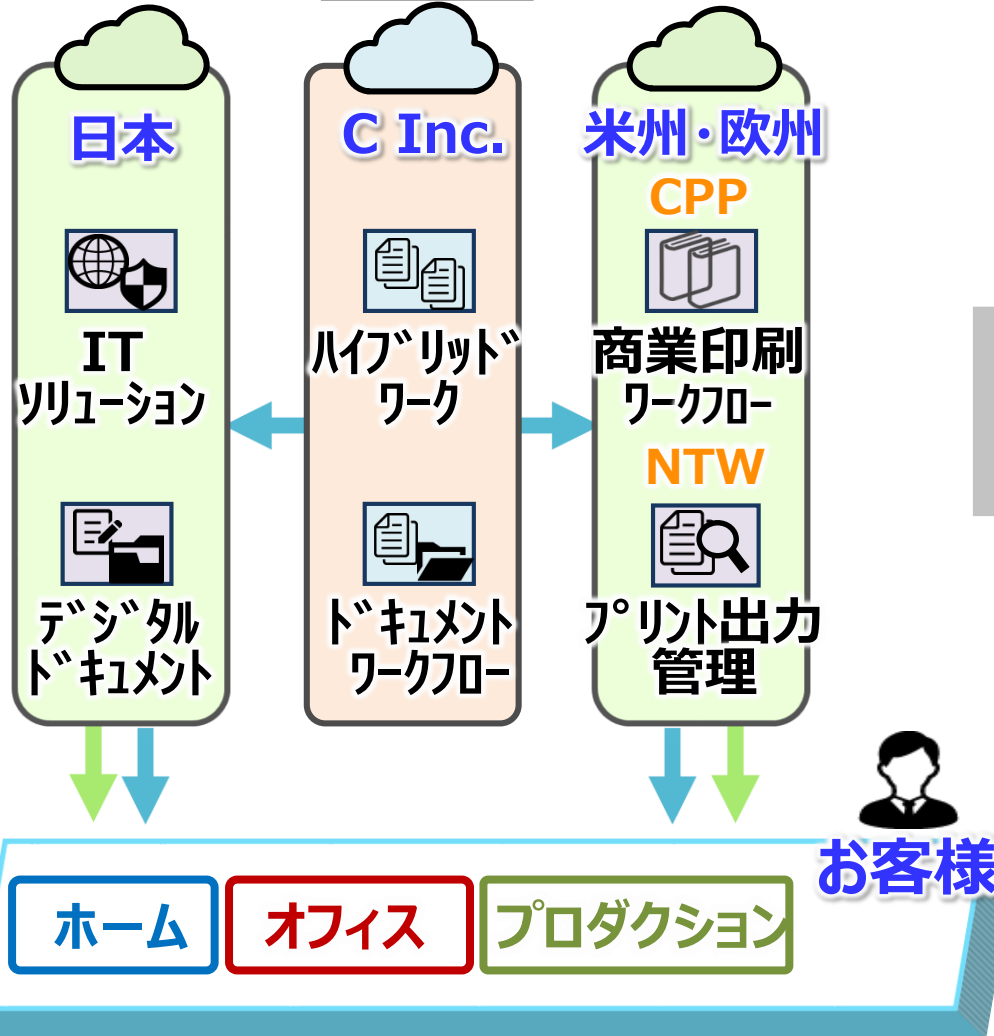
3. デジタルサービス商品の強化

- 3-1. グローバル商品の展開
- 3-2. サイバーフィジカルシステム商品の
業種別ソリューション展開

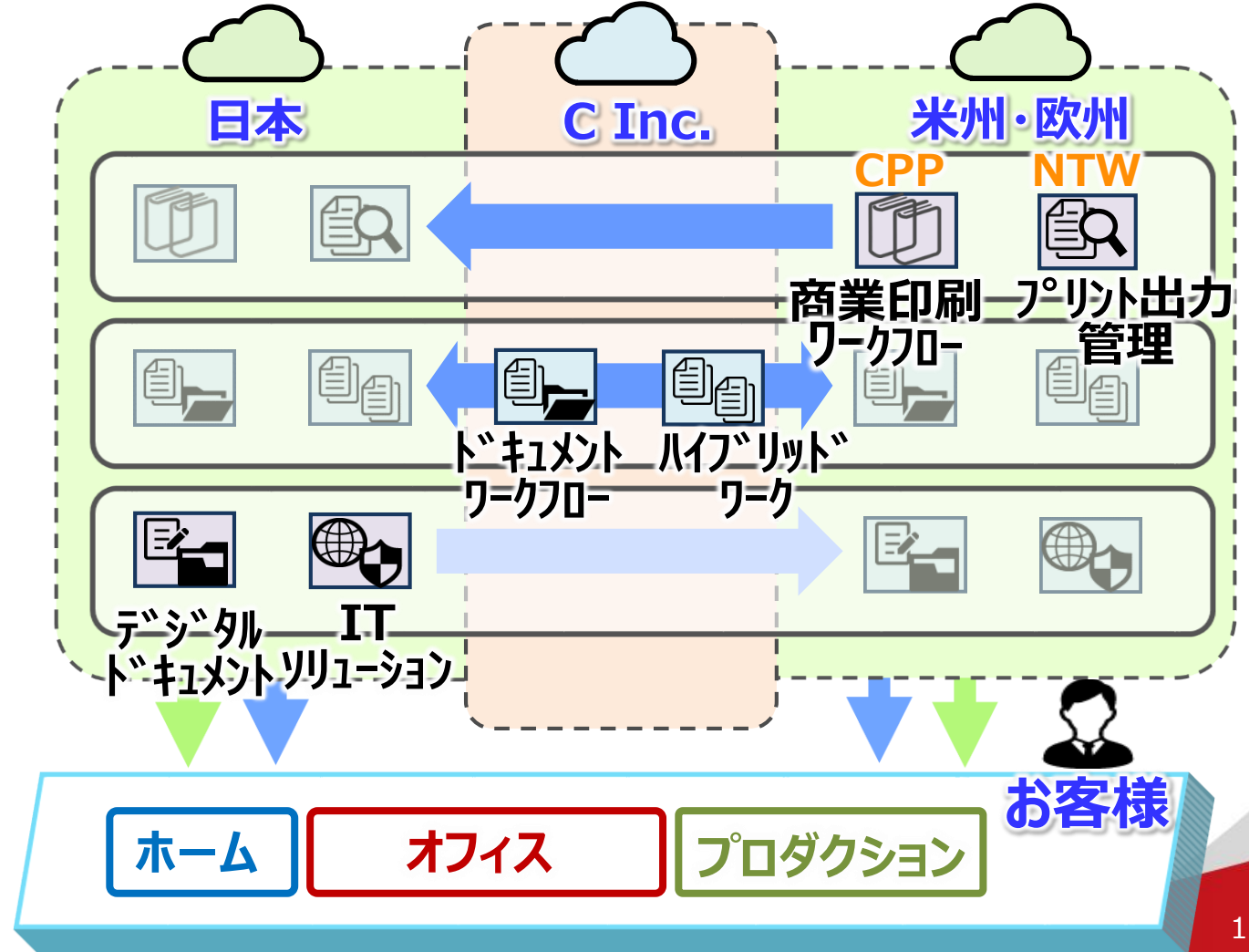
3. デジタルサービス商品の強化

■ 3-1. グローバル商品の展開

これ迄



フェーズVI ~



3. デジタルサービス商品の強化

3-2. サイバーフィジカルシステム商品の業種別ソリューション展開



4. 環境適合型ものづくりの推進

- 4-1. リスク対応生産体制の構築
 - 国内本格生産体制の強化

- 4-2. GX対応ものづくりの推進
 - グリーンプラットフォームの構築

GX対応ものづくりの推進

製品ライフサイクル全体で
『脱炭素』『資源循環』
に対応する

廃棄・リサイクル

- ◆ 消耗品のリフィル対応
- ◆ 定期消耗ユニットのリユース
- ◆ REM機

原材料

- ◆ 製品の軽量化
- ◆ 再生材(プラ・鉄)の使用

Before

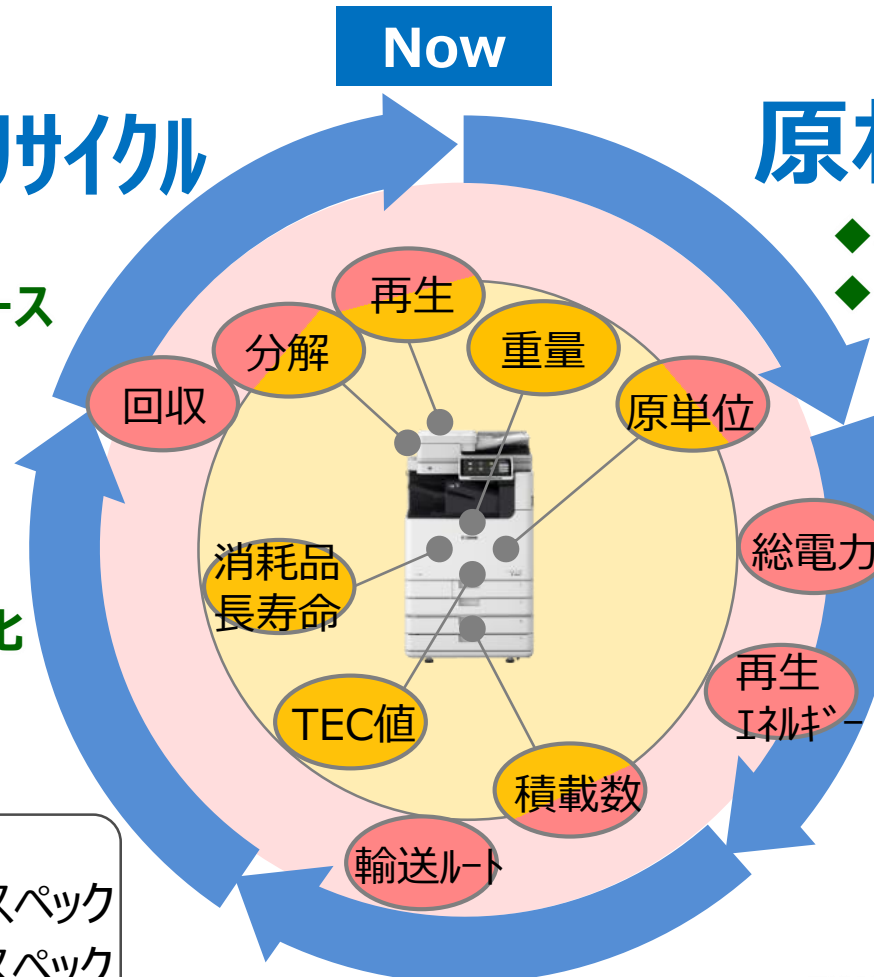


使用・維持

- ◆ パーツ・ユニットの長寿命化
- ◆ 低消費電力

【凡例】

- 製品に実装する環境スペック
- SC※に実装する環境スペック
- ◆ グリーン施策 ※サプライチェーン



生産

- ◆ エネルギーマネジメント
- ◆ 再生エネルギーの利用

流通

- ◆ 脱炭素物流
- ◆ 廃棄レス梱包

仕様の範囲
商品単独

規制・規格
商品 プラス コネクティビティ

仕様の範囲
商品 プラス 製品ライフサイクル全体への環境スペック実装

規制・規格
商品 プラス 生産・3Rスキーム